

W. J. Johnson  
Sur



石渠寶笈

續編





源氏君  
宰相

賀のちみ

春

正月一日朔降ふまゝ

二月十一日最毒のまじり産  
と子産逆は冷泉院とす

夏

四月若菜月あり

秋

七月最毒女侍三后。源氏君は宰相  
如也  
帝は讓位の事分りて進みある事

春

正月七日源氏君  
まつむすの作りに  
あり又の日二条  
院とす

冷泉院  
源便

源内侍  
六十七八

十 九 八

源氏君  
西三位

も

源氏君 十八の十月より

十月十日朱蓮院へ  
及仲母に位下り  
○紫上親母の降辰十  
月陽月秋とす

紫

若

若菜月 三月より

春 三月十日あり

源氏君の八やこ  
○門前月か指のるふ小  
山の香をいひふりし時  
は上りてか  
○最毒のまじり産  
て二条のまじり産  
あり源氏君ひまふ  
又とす  
夏 六月最毒つれ  
正徳二年三月とす  
秋 七月十日あり  
○九月廿日の布に  
は上り親母とす  
○十月に朱蓮院へ  
源氏君ひまふ  
又とす  
冬 十二月二条院  
とす

す 八 七 六 五

未摘花 十月より

八八 源氏君

春 臘月あり

源氏君思ひて未  
つむ花の咲き  
あり  
○三月源氏君つら  
いや

紫  
源上  
親母の  
四十月  
源上十  
はより

秋

八月廿日あり源氏  
君未つむをに色  
あり  
○又の日朱蓮院の  
香の染みぬ人  
あり又とす  
○又とす  
○又とす  
○又とす

十 八 七

桐臺帝  
の遺位  
朱雀院の  
皇太后冷  
泉院の立  
坊の事か  
とい二年  
の間に之

源氏君  
大将

花宴

**春**

- 二月廿余日南殿の桜の宴行し其時源氏君弘徽殿の細殿と思ひて朧月ありをゆり
- 又の日後宴行し
- 三月廿余日二条右衛門の弓のけしきを宴の宴行し

二 十 歳

宴

- 源氏君今年大なる宴をとりし若菜上より

一 十 歳

葵 廿二の心月と

朱雀院  
在位

ひ 不 乃

**春**

- 正月廿日源氏君内上兼又大教より

**秋**

- 葵上皇太后方誕生
- 秋のついで
- 八月廿日葵上逝去
- 十月廿日源氏君入内上兼大教より
- 十月廿日源氏君と新格より

廿 二 歳

さ

**秋**

- 九月七日源氏君中納言
- 十月廿日源氏君大納言
- 十一月廿日源氏君大納言
- 十二月廿日源氏君大納言

三 十 歳

花散里	
花散里 株考占一 六月廿余日源氏君藤景 殿の中御と訪ひ花散里の 四方におりし	
き	か
春 正月源氏君藤景の八かま 二まありし 九月廿七日 秋 源氏君雲林院より 九月初五日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日	春 正月源氏君藤景の八かま 二まありし 九月廿七日 秋 源氏君雲林院より 九月初五日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日
歳 五 七	歳 四 七

八ノノノノノ

頃	
頃 株考占一 六月廿余日源氏君藤景 殿の中御と訪ひ花散里の 四方におりし	
午	辰
春 正月源氏君藤景の八かま 二まありし 九月廿七日 秋 源氏君雲林院より 九月初五日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日	春 正月源氏君藤景の八かま 二まありし 九月廿七日 秋 源氏君雲林院より 九月初五日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日
歳 六 七	歳 五 七

五















梅枝 二十九の壬子二月

八ノ九ノ歳

梅枝

歳末

源氏若准  
右上天皇  
夕二若君  
中納言

口

口

春

正月晦日源氏若准の御成す  
二月十日若准の御成す  
三月十日若准の御成す  
四月十日若准の御成す  
五月十日若准の御成す  
六月十日若准の御成す  
七月十日若准の御成す  
八月十日若准の御成す  
九月十日若准の御成す  
十月十日若准の御成す  
十一月十日若准の御成す  
十二月十日若准の御成す

夏

四月七日若准の御成す  
五月七日若准の御成す  
六月七日若准の御成す  
七月七日若准の御成す  
八月七日若准の御成す  
九月七日若准の御成す  
十月七日若准の御成す  
十一月七日若准の御成す  
十二月七日若准の御成す

秋

八月八日若准の御成す  
九月八日若准の御成す  
十月八日若准の御成す  
十一月八日若准の御成す  
十二月八日若准の御成す

冬

十月十日若准の御成す  
十一月十日若准の御成す  
十二月十日若准の御成す

十一

九 卅 歳

夕二若君  
右大将

か 初 上

口

春

正月十日若准の御成す  
二月十日若准の御成す  
三月十日若准の御成す  
四月十日若准の御成す  
五月十日若准の御成す  
六月十日若准の御成す  
七月十日若准の御成す  
八月十日若准の御成す  
九月十日若准の御成す  
十月十日若准の御成す  
十一月十日若准の御成す  
十二月十日若准の御成す

夏

四月七日若准の御成す  
五月七日若准の御成す  
六月七日若准の御成す  
七月七日若准の御成す  
八月七日若准の御成す  
九月七日若准の御成す  
十月七日若准の御成す  
十一月七日若准の御成す  
十二月七日若准の御成す

秋

八月八日若准の御成す  
九月八日若准の御成す  
十月八日若准の御成す  
十一月八日若准の御成す  
十二月八日若准の御成す

冬

十月十日若准の御成す  
十一月十日若准の御成す  
十二月十日若准の御成す

源氏

四 十 一 歳

今  
正位  
夕霧若  
大御  
大將

下

<p>春</p> <p>○冷泉院即位十八日 ○口幸山御座 ○幸山御座 ○又御座 ○十月十日 ○女二家 ○明年</p>	<p>夏</p> <p>○四月十日 ○八月十日 ○九月十日</p>	<p>秋</p> <p>○十月十日 ○十一月十日 ○十二月十日</p>
<p>廿三 廿二 廿一 廿</p>	<p>廿七 廿六 廿五 廿四 廿三 廿二 廿一 廿</p>	<p>廿七 廿六 廿五 廿四 廿三 廿二 廿一 廿</p>
<p>六十</p>	<p>七十</p>	<p>七十</p>

か

<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>二十</p>	<p>三十</p>	<p>四十</p>	<p>五十</p>
<p>二十</p>	<p>三十</p>	<p>四十</p>	<p>五十</p>

○

人々





秋虫 秋の蟲

八ノ月 八月

反

○ 五ノ月の花の盛りたる

秋

虫

秋

○ 秋の蟲

○ 十ノ月の月

夕音

夕音 八月

夕音

○ 一条の河島新おのけはひて山中小橋の音

○ 八月中の十日の夕音 山中小橋の音 河島の音と訪ひ

○ 一条の河島新おのけ

○ 九月にぬぬ

○ 八月十日夕音 山中小橋の音

○ 一条の河島新おのけはひて山中小橋の音

○ 八月十日夕音 山中小橋の音

○ 夕音の音

夕音

夕音

十五

歳

十

五

秋虫 秋の蟲

秋

春

○ 一条の河島新おのけはひて山中小橋の音

○ 二月十日夕音 山中小橋の音 河島の音と訪ひ

○ 一条の河島新おのけはひて山中小橋の音

○ 八月十日夕音 山中小橋の音

○ 夕音の音

夏

○ 夏にぬぬ

秋

○ 秋の蟲

秋

秋

○ 秋の蟲

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

歳

一

十

五



竹河 菅原十右衛門  
北之村まゝ

白文 北の村まゝ

人々 菅原十右衛門

菅原 侍従  
右近衛

七

<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>
--------------------------	--------------------------	--------------------------

ほ に

<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>
六十歳	五十歳	四十歳

菅原 三位宰相  
中納言

け

<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>
--------------------------	--------------------------	--------------------------

み ふ

<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>	<p>○菅原十右衛門侍従 右近衛</p>
九十歳	八十歳	七十歳



二六梅 花のまわり

寄生  
十日に出来  
とてさうい  
とてさうい  
その年  
まじり

梅 卯

卯  
○花のまわりの  
花のまわり  
○花のまわりの  
花のまわり  
○花のまわりの  
花のまわり

卯

卯  
○今上あまのさうあまの  
まつらにまつら  
○今上あまのさうあまの  
まつらにまつら

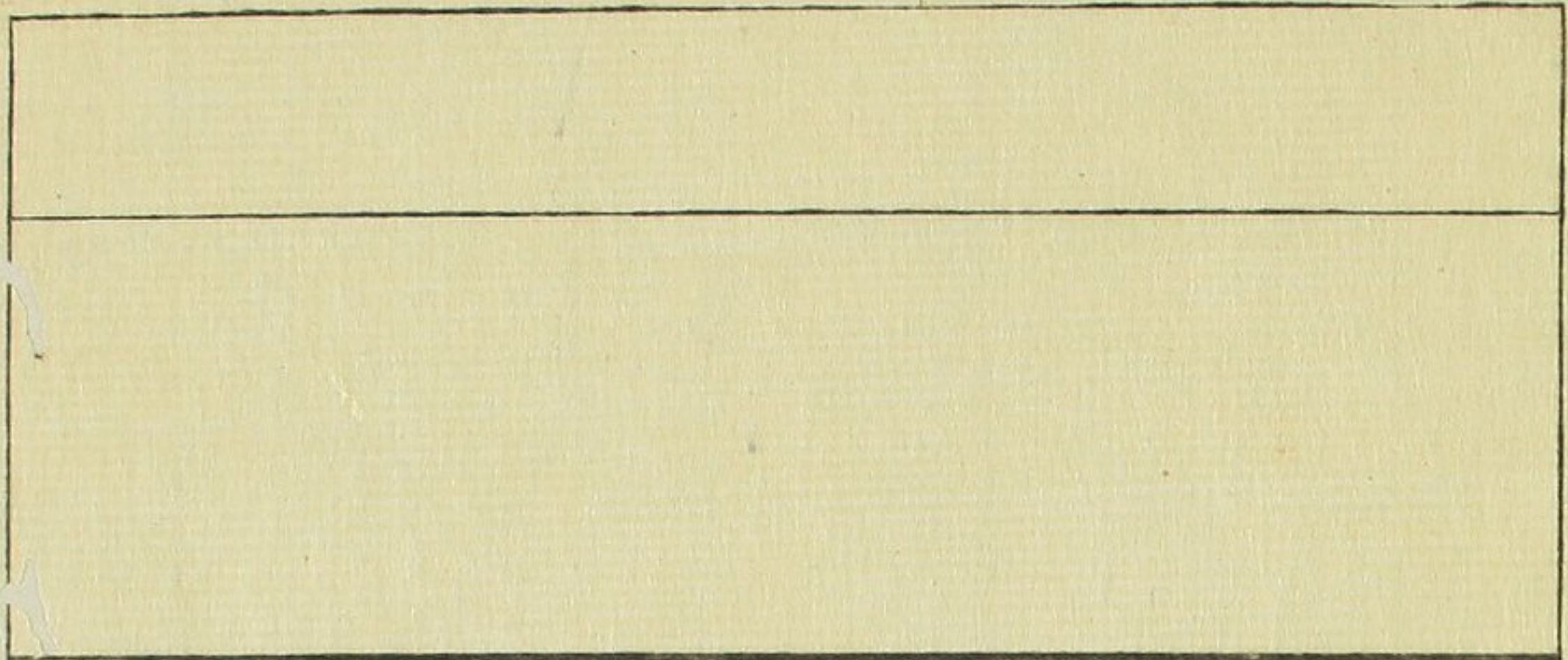
卯 辰 巳

卯 辰 巳  
○花のまわりの  
花のまわり  
○花のまわりの  
花のまわり

卯 辰 巳  
○今上あまのさうあまの  
まつらにまつら

辰 巳 午

八代島芝居



卯 辰

卯 辰  
○今上あまのさうあまの  
まつらにまつら

辰 巳

辰 巳  
○花のまわりの  
花のまわり

辰 巳  
○今上あまのさうあまの  
まつらにまつら

巳 午 未

早蕨 花のまわり

蕨 早

蕨 早  
○花のまわりの  
花のまわり

未 申 酉

未 申 酉  
○今上あまのさうあまの  
まつらにまつら

芝居  
権大綱  
右大将

東屋

秋

八月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
引かしてその末の路にかまひま  
○舟君と二条津の西のいさげに志し移り住みんとて彼流よ  
つゝいひ  
○白雲がく舟君と對面し  
○舟君の母と白雲の母とをいひしは舟君と二条の歌にゆ  
○秋はくぬいしつと津吉の舟君とていひしは舟君とていひし  
○九月十日舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
とひひして津吉のまに移りしは舟君とていひしは舟君とていひし

き

春  
○正月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○二月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○三月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○四月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○五月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○六月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○七月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○八月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○九月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十一月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十二月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて

白雲の  
生

廿

舟  
大進の  
廿二

六

舟  
大進の  
十八

六

舟  
大進の  
十八

浮舟

春

正月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○二月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○三月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○四月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○五月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○六月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○七月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○八月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○九月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十一月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十二月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて

暗

夏

舟君の舟とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○八月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○九月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十一月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十二月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて

鈴

秋

舟君の舟とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○八月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○九月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十一月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十二月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて

本

秋

舟君の舟とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○八月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○九月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十一月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて  
○十二月は舟君とねほねをせんとせしふき津吉のまふとて

舟  
大進の  
十八

七

廿



文化十二乙亥年七月

京都書林

江戸書林

京都三條京路東二町

吉田四郎右衛門

同三條衣少棚角

風月庄左衛門

同三條高倉右東二町

出雲寺文治郎

江戸橋四日市

松本平助

日本橋新右衛門町

荏川六九衛門

中橋廣小路

西宮彌兵衛

山下町

萬屋太次右衛門



